

教材教具および題材	学部	授業名 (主たる教科領域)	執筆者
床の上での線たどり課題	小	グループ学習 高学年ウミガメ (算数)	谷川淳

<制作意図> 認知発達治療の実践マニュアル(日本文化科学社より)

同じ物どうしを線で結んだり、線の一方の先に同じ物を置いたりする活動は太田ステージのステーⅡ(物に名前があることがわかりかけている段階)の児童にとって重点的な課題とされている。その中で指導内容の1つとして示されている「床での線たどり」を実施するに当たって、安価で簡単に制作したいと考えた。



<ねらい>

- ・色カードと同じ色の線を選び、線の端まで歩く。

<内容(作成方法・使用方法・工夫点など)>

作成方法

- ①ラミネートの定型の大きさ(A4)2枚収まるように各色の色画用紙を切る。
- ②ラミネートをした後、切る。
- ③歯止めを使って、つなげていく。

使用方法

- ・保管、持ち運び時は折りたたんでA4サイズにし、使用時に伸ばして使用した。



工夫点

- ・可動できるように、また、作業の効率化を考え、つなぎ目には歯止めを利用した。

<良かった点・改善点(児童生徒の反応を含め)>

- ・床にほぼ密着し、両面テープなどは必要なかった。
- ・児童の実態に応じて、簡易に線の交差部分などを変えることができた。

<その他(材料、費用、購入先等)>

色画用紙、ラミネート、はとめ